

あの頃と、これから

昭和41年（1966年）



平成9年（1997年）



昭和63年（1988年）



昭和30年（1955年）



昭和54年（1979年）



令和元年（2019年）



平成21年（2009年）



当地は、昭和30年代後半から公園施設の整備が段階的に進み、それに併せて市民に身近な自然も拡充してきました。
市のほぼ中央に位置する立地からスポーツ等の拠点となり、多摩川にも隣接する環境から健やかな市民生活の1つの象徴になっています。
今後、再編整備・運営等事業では「スポーツと文化の感動」「健やかで豊かな生活」「地域の安心と安全」という未来像を皆さんと一緒に描いていきます。

昭和10年頃、約90年前の 今へ繋がるいろんな事があった頃

多摩川の流れがかつて屈曲して半島のようになっていた当地は、川が現在のような流れになり、東京府荏原郡玉川村の対岸飛地になっていましたが、明治45年（1912年）神奈川県橋樹郡中原村へ編入、その後、中原町は昭和7年（1932年）川崎市へ編入となりました。
大正7年（1918年）の着工から25年を要した昭和8年（1933年）の多摩川の堤防工事完了や、「丸子の渡し」から渡河の役目を引き継いだ昭和10年（1935年）の丸子橋の開通に加えて、多摩川の砂利採取禁止を受けて当地で砂利採掘が始まったのも同じこの頃、今から約90年前です。

砂利採掘はその後20年ほど行われ、採掘でできた池を埋め立ててグラウンドが造られるようになったのは、昭和30年頃の事です。

昭和21年（1946年）

